

IP テレフォニーシステム NYC-Si エンハンス Step7 テレワーク機能 強化



写真: ハンドセット付クレードルと、スマートフォンに搭載された
「モバイルアシスト[®]」アプリケーション(利用イメージ)

株式会社ナカヨ(本社:群馬県前橋市、代表取締役社長:谷本 佳己、株式コード:6715、以下ナカヨ)は、2017年6月より販売している「IP テレフォニーシステム NYC-Si」に関し、テレワークの機能強化を柱とした「エンハンスStep7」を、1月25日に発売いたします。

働き方に大きな影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症により、サテライトオフィスや在宅での勤務およびワーケーションなどの、既存のオフィスにしばらくられない働き方(テレワーク)が求められています。反面、チームワークで結果を出していく働き方の効率化も求められており、今回のエンハンスでナカヨは、チームでの働き方とテレワークの融合を促進する機能を強化し、コミュニケーションの中核である IP テレフォニーシステムをより使いやすく、業務改革に寄与できるシステムにして参ります。

【今回のエンハンスのポイント】

1) ハンドセット付クレードル発売 (NYC-HSCRAB-MFTMA)

オフィスで使われる電話機はスマートフォンが主流になっていく状況に対応し、スマートフォンを充電しながらハンドセットで通話ができる「ハンドセット付クレードル」を発売いたします。

このクレードルは、Bluetooth でスマートフォンと接続することでハンドセットでの通話ができます。顧客が訪れる店舗や支店などでの社員のスマートフォンによる通話は私用電話と見られ、ハンドセットでの通話が望まれることがあります。このクレードルを使用することで解決できます。

さらに、このクレードルには「NYC-Si」に接続する「多機能電話アプリケーション」「モバイルアシスト」のライセンスが添付されるため、社内・社外を問わずスマートフォンによるオフィスの内線通話・外線通話を行うことができます。

なお、スマートフォンへの充電はワイヤレス充電で行います(スマートフォンの機種による)。

2) 「モバイルアシスト」のラインキー対応

事務所への着信を外出先でも携帯電話で応答できるとご好評いただいている「モバイルアシスト」機能にて、事務所の多機能電話機と同様にスマートフォンの画面にラインキー表示が可能となりました。ラインキーをタップすることで誰からの着信か確認して応答できるなど、テレワーク全般でチームでの働き方の改革を実行できます。

3) IP 電話インタフェースユニットの強化

「NYC-Si」の IP 電話インタフェースユニットを強化し、「ひかり電話オフィス A」が最大 48 チャンネルまで利用可能となりました(従来は最大 32 チャンネル)。

また、VPN ルータ機能と VPN の VoIP 機能を1枚の基板で対応可能とし、「ひかり電話オフィスタイプ」「ひかり電話オフィス A」を利用している場合は、従来の VPN 接続「VPN(IPsec)」以外に VPN 契約や PPPoE セッション契約なしでの VPN 接続「VPN(IPv4 over IPv6)」も可能となりました。

さらに、IP 電話インタフェースユニット配下に接続した IPv6 IPoE 対応ルータ(他社製)への IPv6 アドレス配布が可能となったため、ルータ側でインターネット接続する際は、PPPoE 接続と比較して通信が混雑しにくいと言われている IPoE 接続を利用することができます。

注:「モバイルアシスト」は(株)ナカヨの登録商標です。

本資料に掲載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

本資料における仕様・機能・内容・外観等は予告なく変更することがあります。

【標準価格】(ハンドセット付クレードル) 41,000 円 (税別)

【出荷開始日】 2021年2月5日

この件に関するお問い合わせ先

株式会社ナカヨ 営業統括本部 営業企画室 <https://www.nyc.co.jp/>

〒108-0075 東京都港区港南一丁目7番18号 A-PLACE 品川東 7階

TEL 03-6433-1184 E-mail kikaku_info@nyc.co.jp

以上